

地方創生インターンシップ推進に向けた自治体・大学等の連携事例集【概要版】

地方創生インターンシップの推進にあたって、自治体と大学等がどのようにすれば効果的な連携を実現できるかということについて、実際の取組事例を、連携の観点ごとにとりまとめたもの。

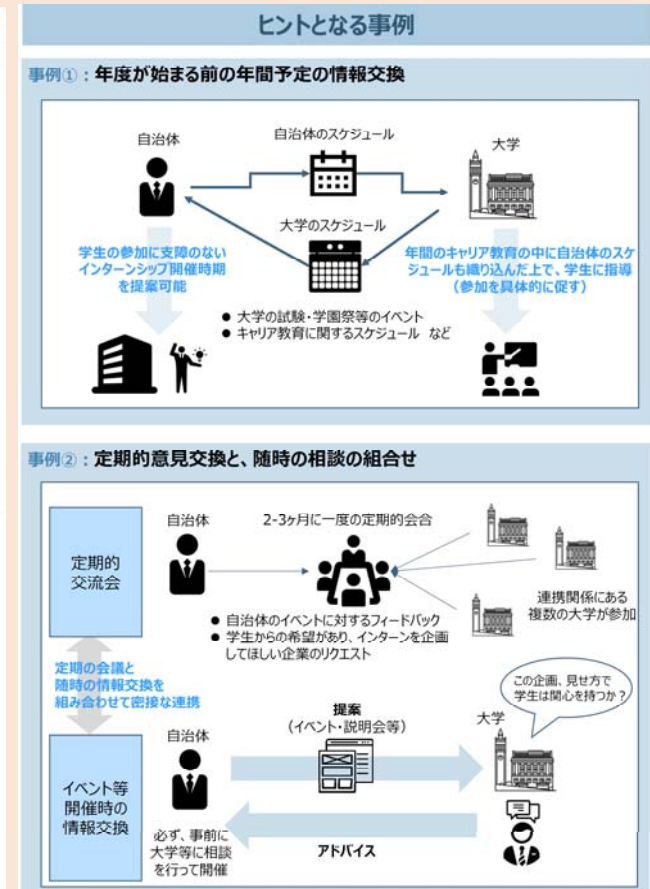
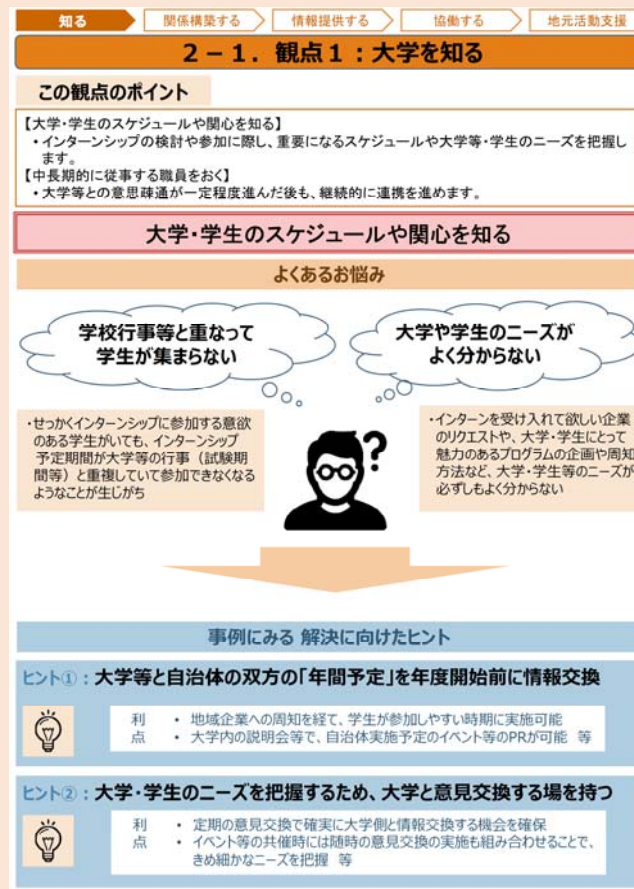
事例集(本編)のコンテンツ

事例集作成の背景と目的や、自治体と大学の連携協力の進め方、その他、大学や学生へのアンケート結果等を掲載。

1.はじめに	1.本事例集の構成 2.自治体と大学との連携協力に係る5つの重要な観点 3.本事例集の使い方	
2.自治体と大学との連携協力の進め方	観点1 大学を知る	<ul style="list-style-type: none"> 大学・学生のスケジュールや関心を知る 中長期的に従事する職員をおく
	観点2 大学と関係構築する	<ul style="list-style-type: none"> どの大学等と連携するか考える 連携の開始の仕方を考える
	観点3 大学に情報提供する	<ul style="list-style-type: none"> 大学等が指導に使える情報を提供する 学生に具体的メリットも提供する
	観点4 大学と協働する	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供方法について大学に相談する 協働する体制を構築する 学内説明会の設計・運営を共同で行う インターンシッププログラムを大学とつくる
	観点5 学生の地元活動を支援する	<ul style="list-style-type: none"> 学生が自治体に相談しやすい体制をつくる 複数の学生の地元活動を一括支援する
3.大学の現状を知る	1.大学アンケート結果 2.大学等ヒアリング結果	
4.学生の現状を知る (学生アンケート結果)		
5.地方就職者の現状を知る (地方就職者による座談会結果)		

事例集(本編)の使い方

- 事例集(本編)では、見開きで理解できるように構成。
- 左側には、「よくあるお悩み」として、自治体等が取り組む上で悩む点と、解決へのヒントを記載。
- 右側には、自治体・大学等の事例を、簡潔に図示・例示。



「よくあるお悩み」と「解決に向けたヒント」（概要）

連携協力に係る観点		よくあるお悩み	解決に向けたヒント	
観点1 大学を知る	<ul style="list-style-type: none"> 大学の事情や連携協力のインセンティブ、学生へのインターン・就職指導の実態について知る 	担当者の異動で大学との関係がゼロに戻る	大学との連携を中長期的に担当する、専従の職員を配置	<ul style="list-style-type: none"> 大学に関する知識・人脈の蓄積・強化が継続的に可能になる 大学に安心・信頼してもらい、積極的な連携を引き出せる 等
観点2 大学と関係構築する	<ul style="list-style-type: none"> 大学と連携協力するにあたり、目的・目標の具体化をすると同時に、どの自治体とどのような内容で連携協力するかを決める 	どの大学等と連携協力すべきかわからない	基準をつくり、連携優先度の高い大学等を客観的に抽出	<ul style="list-style-type: none"> 実のある連携協力を実現できるような大学等を選べる 自治体の限られたリソースを効率的に活用できる 等
観点3 大学に情報提供する	<ul style="list-style-type: none"> インターン情報や地域情報など、大学、学生が知りたい・使いやすい情報について、使いやすい形で提供を行う 	イベントを県内外で行っても、学生の集まりが悪い	イベント参加で学生が割引を受けられる等の具体的メリットの提供	<ul style="list-style-type: none"> 学生が就業体験や情報入手以外のメリットも感じ、参加の誘因になる 学生に「面白さ」を感じてもらい、参加してもらいやすくなる 学生が複数のイベントに継続的に参加しやすくなる 等
観点4 大学と協働する	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供を超えて、様々な活動において、より深く協働する 	説明会で学生が関心を持ってくれない	学生が盛り上がるような説明会のコンテンツ・魅力を大学とともに考案	<ul style="list-style-type: none"> 学生のことを最もよく知る大学等からのアドバイスを受け、学生が参加に魅力やインセンティブを感じる「仕掛け」を組み込める 等
		大学が積極的に学生を送り込んでくれない	大学に安心・信頼してもらえ、インターンシップに係るルール等の情報提供	<ul style="list-style-type: none"> インターンシップのルールがあることで、大学側が安心して学生を送り出すことができたり、学生や親に説明することができる一助となる 等
		情報提供以外の大学との連携方策がわからない	合同説明会の設計・運営を大学・企業・自治体で連携して実施	<ul style="list-style-type: none"> 学生のことを最もよく知る大学等からのアドバイスを受け、大学とともに、学生の関心を惹き、成果を上げられる説明会を開催できる 等
観点5 学生の地元活動を支援する	<p>学生が地元でインターンシップをする際に支援する</p>	<p>サポートしたいが、学生がいつ地元に来ているのかわからない</p> <p>学生の地元活動を支援する効率的な方法はないか</p>	大学に学生を集団で地方に送り出してもらうことを依頼	<ul style="list-style-type: none"> 大学の担当者が、地方就職を希望する学生をまとめて地方に送り出すことで、自治体側は学生の地元活動を確実に認知し、効率的に支援することが可能となる 等

是非、『地方創生インターンシップ推進に向けた自治体・大学等の連携事例集【本編】』をご活用下さい。

～ <https://www.chisou.go.jp/sousei/internship/index.html> ～